

☆JAXA・やまぐち宇宙教育推進事業☆

☆活動レポート②☆

山口県教育庁
地域連携教育推進課
2022年12月21日

☆熱気球を作ろう! ☆

12月17日に山口県セミナーパークを会場に、「第2回大人版宇宙の教室」が開催されました。講師には、「子ども・宇宙・未来の会（通称：KU-MA）」の会長である並木 道義氏を迎え、演習指導だけでなく、最新の宇宙開発に関わるロケット等の説明や南極観測隊として3度の派遣経験からの講話をしていただき、研修がより一層充実したものとなりました。

今回の研修では、まず「熱気球を作ろう!」ということで、ポリエチレンのシートをセロハンテープで張り合わせ袋状にしていき、その中にドライヤーの熱風をいれ、空中に浮かべるといふ演習を実施しました。長い時間、空中に浮かんでいる熱気球もあり、参加者の知的好奇心が刺激され、「どうしたら長い時間浮かぶのか?」と疑問をもたれ、何度もチャレンジする参加者もいました。



☆宇宙教育のインプットからアウトプットへ! ☆

午後からは、これまで参加者が体験を通して学んできたことを基に、「宇宙教育の企画・立案」に挑戦しました。お互いの知恵を出し合いながら4つのグループから企画が紹介されました。「自分たちが立案したものを、ぜひ実践してみたい」と意識が高まった参加者もあり、自分たちが感じた宇宙や科学に対する面白さを伝えたいと感じていました。

<企画・立案された内容>

- ・紙筒ロケットを作って飛ばしてみよう!
- ・大気・地球の命を育む水の大切さに気づこう!
- ・アイスクリームを作ってみよう!
- ・紙飛行機を作ろう! 飛行機を知ろう!



☆今年度の「大人版宇宙の教室」を終えて☆

コロナウイルスの感染者が増加傾向にある中で、開催が心配されましたが、第2回目も11名の参加があり、無事開催することができました。今回は科学実験だけでなく、参加者の方には宇宙教育の実践者になっていただくために「宇宙教育を企画・立案する演習」を取り入れました。日頃はそのような機会が少ない参加者も多く、最初は戸惑いも見られましたが、徐々にお互いの知識や意見が組み合わさっていき、どのグループも企画書を完成させることができました。アンケートにおいて、「宇宙教育を主催したい・スタッフとして関わりたい」と回答する人数が増えてきたことから、参加者の意欲の高まりが感じられました。

これまで開催してきたノウハウを伝達し、県内の様々な場面で宇宙教育が実施されるように、年間を通じたサポートを継続していきたいと思います。